

会 議 録

令和7年度第7回宮古島市教育委員会（定例会）		
日 時	令和7年10月23日（木） 開会：午後1時56分 閉会：午後2時56分	
場 所	宮古島市役所 3階 会議室①	
出 席 委員名	教育長 宮城 克典 教育長職務代理者 前泊 直子 教育委員 中尾 忠祐 教育委員 平良 智枝子 教育委員 東風平 恭子	
事務局員	（生涯学習部）部長：天久 珠江 （教育総務課）教育総務課長：豊見山 徹 補佐兼係長：我如古 千佳枝 主事：譜久島 春菜	
説明員	（教育総務課）課長：豊見山 徹 （学校教育課）課長：村上 健輔 主幹：平良 貴司 （学校給食共同調理場）場長：平良 邦明	
議案等	件 名	結 果
承認事項	会議録署名委員の指名について	承認 承認 承認 承認
報告	会議録の承認について（令和7年度第6回定例会）	
報告第6号	教育長報告	
報告第7号	臨時代理処分の報告について（令和7年度宮古島市教育委員会職員 の人事異動について）	
その他	臨時代理処分の報告について（スクールロイヤー設置委嘱業務契約 締結について）	
	学校給食共同調理場の民間委託について	

会 議 録

宮城教育長	では、これより令和 7 年度第 7 回宮古島市教育委員会（定例会）を開催します。 本日は全員出席です。
宮城教育長	それでは、日程第 1「会議録署名委員の指名について」です。本日の会議録署名委員に平良智枝子委員を指名します。よろしくお願いします。
宮城教育長	次に、日程第 2「会議録の承認」です。 令和 7 年度第 6 回宮古島市教育委員会（定例会）の会議録です。 しばらく時間を置きますので、ご確認をお願いします。
宮城教育長	会議録について、ご意見、質疑等あればお願いします。 （ 質疑なし ）
宮城教育長	それでは、令和 7 年度第 6 回宮古島市教育委員会（定例会）の会議録について承認としてよろしいでしょうか。 （ 異議なし ）
宮城教育長	それでは、日程第 2「会議録の承認について」は承認といたします。
宮城教育長 教育総務課 豊見山課長	次に、日程第 3「教育長報告」です。 事務局から説明をお願いします。 （ 資料を読み上げて説明 ）
宮城教育長	ただいま説明がありました。 訂正ですが、22 日、特別支援学校の校長をはじめ、期成会 P T A 会長がお見えでしたが、市長表敬同席ではなく、教育長表敬でした。教育関係ということで、協力依頼を私のほうで受け取っております。場所は教育長室で行いました。 それでは、質疑等があればお願いします。

前泊委員	6日、城辺地区児童生徒人材育成事業に係る意見交換会ですが、これは、上田さんの基金の件ですよね。私が教育長職務代理をしていたときに城辺の4小学校の校長先生たちが、その使い道について委員会と話し合いの場を持ちたいという要請をして、当時の平良課長に引き継いだ経緯があったので、少し気になっているのですけれども、どのようなお話がありましたか。
宮城教育長	はい、そのことでした。それより前に、顔合わせということで表敬していただいた際に、どんな感じかなということでしたので、ちょうど今の4小学校と中学校の校長が入れ替わりで会ったことがないということでしたので、改めて思いを伝えたらどうですかということで、急遽、この日を設定して全員顔合わせをしました。
前泊委員	前に、話し合いをしたいということがありましたが、そうしているうちに全員転勤だったのでどうなるのだろうということも気になっていたので良かったです。
宮城教育長	懇親会もして顔つなぎはできたと思います。 コミュニティスクールのコーディネーターをやっている比嘉豊樹先生にも参加してもらい、比嘉先生の方言に、久しぶりにすばらしい方言を聞いたと上田氏も褒めていました。
前泊委員	私も気になっていたので良かったです。ありがとうございます。
宮城教育長	それでは、よろしいでしょうか。 他に質疑はありませんか。 (質疑なし)
宮城教育長	質疑がないようですので、教育長報告については承認いたします。
宮城教育長	次に、「日程第4 報告第6号及び日程第5 報告第7号」につきましては、人事に関する案件となりますので、宮古島市教育委員会会議規則第9条の規定により秘密会にしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。 (異議なし)

宮城教育長	ご異議なしと認め、宮古島市教育委員会会議規則第9条の規定により、報告第6号及び報告第7号につきましては秘密会にすることに決定しました。関係者以外は、退席をお願いします。 (秘密会につき会議録省略)
宮城教育長	ここで秘密会を解きます。 「報告第6号 臨時代理処分の報告について（令和7年度宮古島市教育委員会職員の人事異動について）」は承認といたしました。 「報告第7号 臨時代理処分の報告について（スクールロイヤー設置委嘱業務契約締結について）」は承認といたします。
宮城教育長 共同調理場 平良場長	次に、日程第6「その他」についてです。 学校給食共同調理場より報告があります。 それでは、担当より説明をお願いします。 学校給食共同調理場、平良と申します。よろしくお願いいたします。 学校給食共同調理場の民間委託についてのこれまでの経緯と、また今進めている状況を報告していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。 現在、学校給食共同調理場においては、次年度、令和8年4月1日より、城辺、上野、下地、伊良部の学校給食共同調理場の民間への調理委託業務へ向け、市財政課と令和7年12月議会での補正予算計上へ向け調整を進めているところです。その中で財政課のほうから何点か確認事項があります。 (「休憩をお願いします」の声あり) 休憩いたします。 再開いたします。 1点目に、当初、平良学校給食共同調理場の民間委託を行う際に、現在、平良学校給食共同調理場は民間委託をしております。財政面でのメリットもあったが、今回ないのはなぜかとの問いがあります。これについて、うちの

ほうの認識としましては、当時直営での調理場を運営している時点では、調理員が22人で調理業務を行っておりました。各学校への給食の配送及び回収については、民間の配送業者に年間約2400万円の委託を行っていたことから、その委託料がメリットとして出てきたのではないかというふうに認識しております。現在、平良学校給食共同調理場においては、平成28年8月1日から平成31年7月31日まで、平成31年8月1日から令和6年7月31日、令和6年8月1日から令和11年7月31日までの期間で、3回のプロポーザルを経て調理業務の民間委託業務、これは各学校への配送、回収も含みます。を行っているところです。

2点目の質問としましては、平成26年に教育委員会定例会において、平良、伊良部は共同調理場をそのままにして、城辺、上野、下地の学校給食共同調理場は統合し、調理業務は民間委託とあるが、民間委託を先行するならば、補正予算よりも先に教育委員会の決を採るべきではないかとの質問があります。まず、平成26年の第9回宮古島市教育委員会定例会において、宮古島市立学校給食共同調理場の民間委託についての提案が提出されております。すみません、番号1と2を参照してください。平成26年12月25日付で「議案第30号 宮古島市立学校給食共同調理場の統廃合及び調理業務の民間委託について」ということで議案が提出されております。提案理由としましては、学校給食共同調理場の統廃合及び調理業務の民間委託については、宮古島市第二次集中改革プランにおいて検討事項とされています。この件については、平成24年8月に宮古島市立学校給食共同調理場運営委員会に諮問し、平成26年2月付、当委員会より答申を受けておりますので、今後の学校給食共同調理場の運営方針を決定するため、本案を提出しますということで、委員会のほうに提案してあります。

その中で、ページ4ページをお開きください。これ議事録になっております。ご確認できましたでしょうか。「日程第6 議案第30号 宮古島市立学校給食共同調理場の統廃合及び調理業務の民間委託についてご提案と説明をお願いします」ということで、今読み上げた説明の下に委員に諮られております。その中で、野原委員のほうから、確認ですが、共同調理場を3つにした場合でも、3つといいますと、平良、伊良部、城辺、上野、下地は統合してという考え方下の質問かなと思います。3つにした場合でも料理部門は民間委託をするということですかという質問に対して、当時の場長が「そうです。城辺調理場が築31年になり、建て替えが必要なものですから建て替えに伴う統廃合をしていきたいと思っています」という回答をしていま

す。次に、佐和田委員のほうから「新設予定地としてはどのあたりを考えていますか」ということで、具体的にあるかということの問いだと思うのですが、共同調理場長は、「平成２７年度の当初予算で１２月の議会でも教育長が答弁したように調理場基本計画を策定するにあたり、その基本計画の中に建設委員会を立ち上げて、その中で財政面・規模的なものも含めて決めていきたい」というふうな答弁をしております。なので、うちのほうとしましては、この２６年度の教育委員会の説明のほうにおいては民間への調理場の委託も委員のほうには認識されているものと理解をしているところで

す。

資料③をお願いします。宮古島市立学校給食共同調理場（城辺・上野・下地）基本計画内部検討委員会設置要綱を平成２８年１１月２５日、教育委員会訓令第１３号を制定しています。資料④をお願いします。令和３年３月８日付で大城教育長へ学校給食共同調理場（城辺・上野・下地）基本計画内部検討委員会委員長より答申がなされております。

答申内容としましては、資料⑤の報告書になります。その期間、いろいろ場所及び事業費の捻出等も内部検討委員会の中で議論いたしまして、その内容について、その報告がなされたということです。この中で、全体を読むのではなくて、ちょっとかいつまんで説明したいと思います。④検討委員会方針資料の報告書の中の１ページです。この報告書の内容というのが、本市の学校給食共同調理場の概要とか、３調理場（城辺・上野・下地）の統廃合案の経緯、３調理場統廃合における現状と課題ということで報告がなされております。

①３調理場の現状として、城辺調理場が築３５年（耐力度調査実施時）経過しているため、耐力度調査を実施したところ、耐力度点数はその基準を満たしているとの結果であった。上野・下地調理場は、財政状況と公共施設等の管理において、まだまだ使用可能な施設（築２０年弱）とされているが、そのような施設を廃止し、新たな施設を整備するという事は、財政計画においては想定されていない。

次に、②財源について、調理場は、建て替えに関し国庫補助の見込みがなく、また、他の補助メニューもないのが現状である。仮に建て替える場合、城辺調理場分の補助のみとなり、そのほとんどは一般財源での対応となる。財源確保が難しいということです。

③平良調理場及び伊良部調理場の建て替え。３調理場を統合し新調理場を建設したとしても、３調理場というのは城辺、上野、下地です。平良調理場及

び伊良部調理場も建築から20年近く経過していることから、それぞれの建て替えが必要となり、3調理場統合以上の事業費が必要となるということで、④建設場所等も含めての経済比較とか、その必要要件とかも書かれています。

2ページの下の方の4、今後の方針及び課題等ということで、報告内容としましては、3調理場（城辺・上野・下地）統合計画については以下の理由により一旦据え置くこととし、当面は現状の5調理場での運営を継続する。統廃合については、今後、全調理場の統合を含め再検討する。理由としましては、城辺調理場の築年数37年の経過に伴う老朽化が懸念されたが、城辺調理場の耐力度調査を行ったところ、耐力度点数はその基準を満たしていることから、急を要する建て替えの必要がなくなった。続いて、3調理場統合（2,000食対応）の事業費は約21億円、5調理場統合（6,000食対応）の事業費は約31億円との試算である。3調理場統合による新調理場を建設した場合、将来的には平良調理場（4,200食）や伊良部調理場（370食）を建て替える必要があり、3調理場統合以上の事業費を要するという理由から、当面据え置くという形になっています。

次のページをお願いします。③今後の課題としましては、現段階では、調理場建て替えに関し、国庫補助の見込みがなく、またほかの補助メニューもないことから、事業費の大半は一般財源での対応となるため、財源確保が厳しい。今後、財源等については関係部署と慎重に調整を進める必要がある。続いて、用地選定の条件として、これも上下水道接続可能な地区を候補地にする。

④その他で、平良調理場の調理等業務委託は4年が経過したが、人員の安定確保をはじめ、安全管理や衛生管理など、民間のノウハウを生かした業務が徹底され、安定した運営が行われていることを鑑み、ほかの4調理場についても調理等業務の委託を検討していく必要があるとなっております。4調理場の委託をした場合は、この4調理場変更について見直す必要がある。例えば、課を廃止し、教育総務課に係として編入。複合施設としての整備（市の防災機能の強化を図るため、防災食育センターとしての複合施設を新庁舎付近に整備）を検討する必要があるというふうに、その他のほうでもうたっておりますが、今回建物、委託というか、民間委託を、建て替えではなく民間委託を優先的にやっていくということで今日の説明を報告という形でしているのですけれども、なぜ民間移行が今必要かということで、このほうにもありますとおり、安心、安定した給食の提供というのが一番重要な部分で

	あると思います。その中で、現在、人員の、4調理場の調理員の皆さんは会計年度職員をもって充てております。城辺が7名、上野、下地6名、伊良部が7名となっています。伊良部、城辺は配送があります。伊良部、配送車1台、城辺、配送車2台です。一部下地も配送があります。その中において、どうしても調理員の確保が非常に困難になってきているという現状があります。長年勤めている方もいるのですが、新しく入ってこられる方、若い年代の方も入ってこられるのですが、どうしても続かない。辞めていく方が既に、今年に入ってももう10名いらっしゃいます。そのたびに平良調理場の職員が対応するという現状があります。ということは、この調理場に応援に行っても慣れているわけではないのです。ですから、実際にいる調理員さんに負担はかかっていますよということなのです。ですから、安定したといった部分で考えると、これは本当に安定したというふうな部分が出てきて、強くて、どうしても今回12月の補正計上に向けて取り組んでいきたいという強い思いがありますので、今、分かりにくい説明になるかもしれませんが、財政課のほうからの質問に対してはこういうふうに順を追って、これまでも平成26年、令和2年度の第25回宮古島市教育委員会定例会の中でもこの報告はなされているということで我々調理場としては考えているところであり、この12月補正に向かっては、これを基に強気ですと言ったらおかしいのですけれども、補正予算計上に向けて取り組んでいきたいと思いますので、委員の皆様のご理解をお願いしたいと考えております。よろしくお願いします。 以上です。
宮城教育長	説明が終わりました。 学校給食共同調理場の民間委託について、委員の皆さまと意見交換を行い、より良い方向というのを協議していきたいと思います。 質問がありましたらお願いします。
前泊委員 共同調理場 平良場長	平良のオーディフさんは、調理員さんは全員正規の職員ですか。 今資料を持っていないので正確な数字はお答えできないのですが、平良調理場から引き継いだ方も正職員で十数名いらっしゃいます。パートの職員も数名いらっしゃいます。

前泊委員	会計年度任用さんが辞めていくのが多いというのは、待遇面とかそういうのも少しあるのでしょうか。オーディフさんの正規の職員と宮古島の会計年度任用職員とでどうしても違いがあるのでしょうか。
共同調理場 平良場長	それもあると思いますが、やはり責任の所在を明確にしていくということですね。同じ仕事でも段取りとか、その責任者がいて段取りよく進めていったら仕事の効率も上がるということで、調理員さんの負担も少ないと思うのです。会計年度さんばかりではリーダーを置けないです。その部分での差もあるのかなというふうには考えています。
東風平委員	仕事がやりにくかったら、もう辞めたくくなりますよね。給与面以外でも、やはり仕事がやりにくいというのが一番きついのではないかと思います。
共同調理場 平良場長	人間関係がこじれないよう、どうしても責任者がいて、その責任者がしっかりと割り振って方向性を決めて、そこの副主任がサポートに入り栄養管理をしっかりと品質管理をしながらやっていくという形が望ましいと考えます。だから、平良調理場はそれでうまくいくのであって、人員が欠けてもすぐ応援体制が組まれている、シフトが組まれているという体制でいけば、安心、安全な給食の提供は可能だと思います。
東風平委員	正職員でやるということは難しいのですか。
共同調理場 平良場長	これは職員の配置状況の話になるので、私が答えていいのかどうか分かりませんが、どうしても職員の数というの、課の配置状況もございます。そこで、調理場に責任所在をしっかりと持つためにも正社員を置いてほしいのです。実際、今私が5調理場を統括している形になっております。でも、1つの調理場に一人責任者がいてしかりだと考えています。ただ、職員の配置の話になると、私のほうでどうのこうのという話はできません。
中尾委員	12月議会に出るということは、11月定例会で提案が上がるということですか。
共同調理場 平良場長	12月補正計上を目指して、今財政課のほうと調整しています。

中尾委員	その事前説明ということですよ。その中で、いわゆるこれはあくまで人件費での計上ということですよ。
共同調理場 平良場長	委託料ですね。
中尾委員	いわゆる人件費委託料で、そういう意味では他の比較とか、いろいろまたそのときには出るのでしょうけれども、いわゆる今いる会計年度任用の方は希望すればオーディフさんに行くという、いわゆる雇用は守られるという前提はあるということですよ。
共同調理場 平良場長	そうです。オーディフさんがという前提で話しているわけではないのですが、過去3回プロポーザルして、エントリーする業者はいるのですが、参加表明まで来る業者というのがいないのです。だから、オーディフさんが3回連続受注されているという経緯もありまして、もう一回プロポーザルをかけても、第1次審査で書類審査になったら出てこないというのが考えられます。議員の皆さんからも、雇用されている皆さんはどうするのですかというお話が出ると思います。その対応に関しては、受注された民間業者様との協議の中に盛り込んでいきます。
前泊委員 共同調理場 平良場長	平良調理場委託の際もそうでしたよね。 これ実際に事業費の比較をした場合、おそらく現在の予算の2倍くらいになります。それはもちろん専門職になるからです。ただ、この前提として、今いる会計年度さん、調理員さんも吸い上げようという前提で、会計年度さんの中でも一番賃金の高い方の賃金を我々提示しているのです。ですから、そういうふうな比較した場合には差は出てきます。
前泊委員	食材の調達とかも、一つに統一してまとめた方が、地区としてはやりやすいのかなとは思いますが、でも栄養士さんによって献立が違いますよね。一括でやったほうが安くつくのかなと思ったりしますがどうでしょうか。
共同調理場 平良場長	食材費については、物価高騰の影響の面から、賄い材料費を削減等のため、学校給食会さんとか、地産地消で宮古の農家のノウハウを取り入れながら、栄養士が知恵を絞り奮闘しております。おっしゃるとおりメニューも一本化

	したほうがいいと存じますが、調理場の規模や機材の都合もあり困難な面があります。
宮城教育長	やはり有資格者等の責任者を置くことにより、消毒作業等の衛生管理だけでなく、一括管理をすることにより、急な欠員や長期休養などの人的なトラブルにも対応できると思われます。今は場長が職員にお願いしてどうにか対応している状況なので、そういう煩わしい部分もあるし、場合によっては採用等についても委託された業者がやることで、業務が少しスムーズにいくのかなと思います。
前泊委員	反対意見が出るとしたら何が原因として想定されそうですか。予算がすごく超過するとかですか。
共同調理場 平良場長	どうしても予算の問題だと思います。状況を知っているとは思いますが、やっぱり今起こっている状況というのをもう少し深く入って感じてもらうしかないかなと思います。私も今年度からの配属ですが、人材派遣会社に来たのかなと思うくらい対応に苦慮しております。教育長がおっしゃったとおり、当日の朝に、今日休みますから応援お願いしますと言われも、ほかの調理場に依頼はできないんですよね。それで、隣にいる補佐とか、調理員の会計年度職員より賃金の低い事務の会計年度職員を応援に行ってくれと言うのも心苦しくて、でも出さないといけないというので、もう本当に苦渋の選択をしているところです。
前泊委員	基本的にはそういう状況もあるし、平良調理場もやっているのだから、私個人はもう一つにしていけないのではないかなと思うのです。ただ、これから予算を確保していく中で支障となるのは何なのだろうという部分で、今おっしゃっていることを説明して、もう獲得するしかないですよね。
共同調理場 平良場長	頑張ります。ありがとうございます。
宮城教育長	ここでの決定が決定ではなくて、あくまでも説明を通しておかないという事と、オーディフさんは今、県内でも大手の調理関係業務を行っていて、食品加工の自社工場も建設中だったかなと思います。我々が一番懸念していることは、生徒に給食が提供できなくなることです。施設建設計画も考えなけ

	ればいけない状況もあると思いますが、まずは安定して給食を提供する環境を整えることを最優先とし、運営の中で民間企業のノウハウ等を習いながら、よりよい給食事業を行っていきたいということで急遽説明事項に上げました。
平良委員	民間委託をして平良調理場4年目ということですが、その間、生徒たちの給食について、民間委託する前と委託してから変わったこととかありますか。
共同調理場 平良場長	それは私のほうでは把握していませんが、私が配置されてからそういった事案はないです。ごめんなさい、説明が悪かったのですけれども、今オーディフさんは4年目ではなくて十数年目に入ります。その中でも栄養士がバランスの取れた献立を作り続けて、ただ平良調理場においては米飯施設がないものですから、米飯を民間に委託しています。その部分でちょっと平良調理場は、ほかの調理場に比べて量が少ないお話は少し伺っております。でも、この格差を埋めるために、予算を確保してほかの調理場の給食と何ら変わりはなくない状況の給食を提供している状況です。ただ、子ども議会でもあがりましたが、そばやラーメンを出してほしいという意見はあります。
前泊委員	オーディフさんは、私が浦添で勤務しているときも委託でやっていて、ラーメンも冷やし中華も出ていたし、沖縄そばも出ていたので、多分ノウハウは知っていると思いますので、子供はおそば大好きなので、ぜひ宮古そばが出る給食であってほしいなと思っています。
共同調理場 平良場長	宮古で4200食を小分けにして出してくれる業者がいらないのです。どうしても難しいようです。
前泊委員	そうみたいですね。分けることは無理だというお話を聞きました。
共同調理場 平良場長	できれば平良のほうも出してあげたいのですけれども、そこら辺のハードルがあります。
宮城教育長	必ずしもオーディフさんということではないけれども、献身的ではあるかなと思います。この前も夏休みだったかな、ジューシーを自分たちで炊いて、

共同調理場 平良場長 宮城教育長 宮城教育長	子ども食堂とか、児童館とか、そういうところに無料配布して、丁寧に本社からも常務も来て挨拶をしていました。 では、この件については前向きに、意見交換しながら検討していくということによろしいでしょうか。 (「はい」の声多数あり) 補正予算、財政課との調整、予算計上等につきましては、また再度報告させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。 ありがとうございました。 他に「その他」で何かありますでしょうか。 (特になし) ないようですので、以上をもちまして本日の日程は全て終了といたしました。 これで令和7年度第7回宮古島市教育委員会(定例会)を閉会いたします。 お疲れさまでした。
	教育長 宮城 克典 会議録署名委員 平良 智枝子